

議 事 録(概 要)

会議名	令和4年度 第2回守山市生涯歯科保健推進協議会
開催日時	令和4年10月25日(火) 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	地域総合センター(玉津会館) 研修室
委員出席者	岡本委員、松川委員、吉田委員、高田委員、野々村委員、林委員、戸梶委員、兼松委員 (10名中8名出席) 欠席：今井委員、胡井委員
事務局	健康福祉部 沖田理事 すこやか生活課 森口課長、川中参事、金沢係長、岩波主任、清水歯科衛生士、中野歯科衛生士 在宅医療・介護サポートセンター 浦西主査
傍聴者	なし
会議次第	1 開 会 2 報告事項 (1) 第2次健康もりやま21に関する市民アンケート調査の実施結果について 3 協議事項 (1) 守山市生涯歯科保健計画重点施策の最終評価(案)について
会議資料	・令和4年度生涯歯科保健推進協議会委員名簿 ・守山市生涯歯科保健推進協議会設置要綱 資料1：第2次健康もりやま21市民アンケート調査結果(概要版) 資料2：第2次健康もりやま21市民アンケート調査結果(歯と口腔について)(案) 資料3-1：生涯歯科保健計画重点施策の評価の概要について 3-2：守山市生涯歯科保健計画最終評価報告書(案)

- 1 開 会
- 2 報告事項

(1) 第2次健康もりやま21に関する市民アンケート調査の実施結果について

事務局	資料1、資料2に基づき説明
岡本会長	質問はないか。 分析をされた会社の方も来ている。分析の仕方、アプローチの仕方など気になることがあれば質問して下さってもよい。
松川委員	1ページ目のがん検診と歯科健診の関係について。どのように解釈すればよいのか。
事務局	「多くなっています」という表現は、統計的に見て優位である、という意味。母数の数によって、グラフで見ると違いが大きいように感じる。
岡本会長	資料を全体的に見ると、前回と比較して健康づくりへの関心度は高くなっている。歯科健診に行っている方も多くなっている。思っていた通り（関心度が高くなっている）という印象で、意外性は感じない。
松川委員	関心が高い人は歯科健診を受けている人が多い。この結果を受けて、守山市としてはどのように施策として展開したいと考えているのか。
事務局	アンケートで「健康づくりに関心がありますか」という項目があり、その結果関心は高くなりつつあるが、一方「健康づくりのために何か具体的な行動をしていますか」との質問では具体的に行動に移せていない人がいる。 市としては健康づくりについては関心が高まってきていると思っているが、実際に行動には移せていないという現状があるので、啓発等を強化する、具体的な行動に移す施策を打つなどの対策が必要であると考えている。
岡本会長	世代によりばらつきがあり、受けない集団へのアプローチは必要であるが、全体的な底上げは出来ていると思う。
吉田委員	高齢の方で健診に行けない人への市としての対策などはあるのか。

事務局	<p>歯科健診としては在宅版のすこやか歯科健診を活用していただくことができる。治療が希望であれば、歯科医師会が設置している在宅歯科医療連携室へ依頼し、歯科医師の方に訪問していただくという手段もある。直接、依頼していただくことも可能であるが、介護認定を受けられ、担当ケアマネジャーがいる方はケアマネジャーを通じて依頼していただくこともできる。</p>
岡本会長	<p>本人が困っていて連絡出来る場合もあるが、認知症が進んでいたりする場合などは、家族等も含めて周りが気付いてあげる必要がある。また、いざ、連絡しようとしても、どこに連絡したらいいか、どこを読めば分かるのか、手段など、課題はまだある。</p>

3 協議事項

(1) 守山市生涯歯科保健計画重点施策の最終評価（案）について

事務局	資料 3-1、3-2 に基づき説明
岡本会長	<p>まずは重点施策 1 から。</p> <p>歯周病（歯肉炎）が年々低年齢化している印象。学校健診でも歯石の付着、歯肉の腫れ、出血がみられる児が増加している。学校での現状について、高田委員から意見はあるか。</p>
高田委員	<p>歯周疾患の生徒、児童は増えていると認識している。</p> <p>小中学校は市が管轄しているため、啓発がしやすい。継続した啓発が大切だと思う。成人式での啓発もしてはどうか。また、県と連携して高校生へのアプローチをすることで、結果的に守山市民全体への啓発にもつながると思う。協力して実施してほしい。</p>
岡本会長	<p>小学生へのアプローチだと本人とその保護者へのアプローチも大切だと思う。もう少し若年層へのアプローチはどうか。</p>
林委員	<p>自身のことになるが、ハガキが来てもなかなか受診しない。</p> <p>子育て世代を含め、若い世代ならばメールや LINE などの SNS を活用するのはどうか。予算的なものもあるが、受診したらクーポンが貰えるといったことも良いのではないか。</p>

松川委員	<p>受診率向上策として、市は健診料無料化が有効だと考えており、市民アンケートでも無料化を望む声が上がっている。市としては本気で無料化する考えはあるのか。</p> <p>無料化したうえで、受診者が高止まりしているから、他に策はないかということなら分かるが。予算のこともあると思うが、受診率を向上させるためには市も投資すべきではないかと思う。</p>
事務局	<p>次年度の予算協議の中で歯科保健は大切だということをしっかりとアピールしていきたい。</p> <p>また、無料化は確かに良い案だと考えているが、先ほど頂いた意見にもあったように、啓発の方法や手段の見直し、インセンティブを用意するなどの工夫もしたい。</p>
岡本会長	<p>アンケート結果、委員からも意見が出ている。協議会からの総意として、意見を反映してほしい。</p>
野々村委員	<p>受診率向上という点において、受診しないとどのような健康リスクを招くのか、受診することでどのような価値が得られるのか、といったことを啓発することは大事。無料化なども大事であるが、その点もきっちりとアピールすべきである。</p>
岡本会長	<p>続いて重点2について。戸梶委員、意見はあるか。</p>
戸梶委員	<p>資料のとおり、コロナ禍で口腔ケアに関する活動が制限された。施設により口腔ケアをしているところもあるが、もりやま作業所ではできなかった。施設の状況は様々であるため、一律に何か実施することを依頼することは難しい。</p> <p>市へお願いしたいことがある。移動支援に予算を付けてほしい。そのサービスを使って歯科受診をしたい。</p>
事務局	<p>歯科受診をするために移動支援サービスが必要であるということか。また、事業所で啓発や健康講座などを行う機会を設けるというのはどうか。</p>
戸梶委員	<p>啓発や歯科保健指導はコラボにこここ歯科保健事業で実施頂いている。それとは別に守山市の方から来ていただけるということか。施設的にはありがたいことではあるが、矛盾した話になるが、利用者の中には何度も歯科指導を受けると拒否反応を示す人もいる。歯科健診と集団歯科保健指導の年2回くらいがちょうどよい。</p>

事務局	介護事業所は歯科講座の案内をしたところ、講座の依頼を複数頂いたので、障害者施設でも実施してはどうかと思ったところである。
岡本会長	障害者通所施設利用者で口の痛みや詰め物がとれた時、施設でどのような対応をとっているのか。
戸梶委員	事業所により様々であるが、移動支援サービスを使う、親御さんが付き添う場合、中には施設職員が付き添うこともある。
岡本会長	今のところ、受診の決まりやシステムがあるわけではない。行政の方で歯科受診のマニュアル、システムがあれば受診の目安なども分かるので良いのではないか。
松川委員	小児科を開業しているので、受診される人の中には自閉症などの発達障害児もいる。障害者の対策となると車椅子を使って受診可能かなど、身体障害者中心の情報が多いが、自閉症などの知的や精神障害の人が上手く受診できるように対策が必要かと思う。
岡本会長	リストは歯科医師会で持っているものがある。
事務局	歯科医師会のホームページに身体だけでなく、知的や精神障害者児の治療可能歯科医院のリストが掲載されている。また、障害の程度によるが、口腔衛生センターも受診可能である。
岡本会長	現状では、問い合わせの後、来所していただき、どこまでの対応が可能か段階を踏んでの治療となる。緊急性にもよる。 受診の指標となる、発達障害児受け入れ可能な歯科医院リストなどが小児科にあれば、医科と歯科が連携もとれるので良いと思う。
松川委員	これは、守山市単独の問題ではない。湖南圏域まで広げてもらうのが良いと思う。
岡本会長	リストの周知が不十分だと思う。市で何らかの対応はできないか。
事務局	個人へのリスト配付などはしていない。障害福祉課やすこやか生活課の窓口に来所されたときには歯科医師会のリストを参考に個別に案内している。 どのような機会に啓発できるか、検討していきたい。
岡本会長	続いて重点3について。兼松委員、意見はあるか。

兼松委員	<p>ケアマネアンケートの回答として、訪問調整に時間がかかる、費用が不明瞭といった回答はケアマネの技量によるものもあると思う。支援者の技量や協力があれば、対応できることだと思う。サービス担当者会議でもヘルパーの方から連絡があればデイサービスに来所した際に確認することも可能である。</p> <p>介護保険サービスを使って、口腔ケアを行う際に歯ブラシやスポンジブラシといった材料の費用は出ない。家族が準備していればいいが、そうでない場合は実費となる。</p> <p>口腔機能向上加算について、大きい規模の事業所は加算を取れることを知っていて実際に加算をとっているところもあるが、小さい事業所の中には知らないところもある。</p>
岡本会長	<p>在宅歯科に詳しい歯科医師に口腔ケア備品の準備でよい方法がないか確認してみる。</p>
野々村委員	<p>守山市民病院は済生会滋賀県病院から歯科医師に来てもらっている。口腔ケアの重要性を感じている。ありがたい。</p>
岡本会長	<p>介護の現場では関係者が協力して出来ている。今後もその輪を広げてほしいと思う。</p>
事務局	<p>頂いた意見は健康づくり推進協議会でも報告する。</p> <p>次回の協議会は1月下旬から2月上旬に開催予定。</p>